

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 福岡市立玄洋中学校

【テーマ】 I II **III** IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

パラリンピックや障害者スポーツへの関心を高めるための教育の在り方

【実施学年、部、講座等】

全学年（男子411名・女子407名）

【目的・ねらい】

パラリンピックに関する学習や講演を通して、パラリンピックへの知識を深めるとともに、違いを認める人権感覚や困難に立ち向かう強い意志を養う。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ ）
- ・道徳
- ・外国語活動
- ・**総合的な学習の時間**
- ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

(実施内容)

「オリ・パラ学習ガイダンス」

1/26 (火) 2時間目

指導者 主幹教諭(教務担当) 阿武 正俊

対象 全校生徒

内容 過去の映像を紹介しながらのプレゼンテーション

主な内容

1. オリ・パラ学習とは
2. オリンピアン^①の卓越性にふれる
 - ・245cm 何の世界記録？(男子走り高跳び)
3. 努力の大切さ
 - ・ロンドンオリンピック「女子卓球団体準決勝^②試合後の福原選手のコメント」
4. 最後まであきらめない強い意志
 - ・ロサンゼルスオリンピック「女子マラソン アンデルセン選手」
5. 障害者や障害者スポーツに対する理解
 - ・テニス選手 フェデラー選手のインタビューの言葉
6. 日本の伝統文化の再確認と国際理解
 - ・2020東京招致プレゼン「お・も・て・な・し」
7. オリパラ講演会について
 - ・ロンドンパラリンピック「女子ゴールボール ハイライト」
 - ・講師の先生を迎えるにあたっての「おもてなし」

「オリパラ講演会」

1 / 27 (水) 3. 4 時間目

講師 小宮 正江 さん

・ロンドンパラリンピック ゴールボール金メダリスト

テーマ 「自分の可能性を信じて」



「お礼状作成」

1 / 27 (水) 5 時間目

各クラス → 郵送

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・生徒の興味を引くプレゼンテーションの作成
- ・主活動へつながるようなプレゼンの内容の工夫

(成果)

- 「ガイドダンス」では、過去の映像やエピソードの紹介を交えて行ったため、生徒の関心を高めることができた。
- 講演会が、オリ・パラで学べる一つとしての「おもてなしの心」を実践する場として、とても有意義だった。
- 講演会では、実際に金メダルを獲った方からのお話だったため、「あきらめない強い意志」や「自分の可能性に挑戦する強さ」など、多くのことを学び、考える良い経験となった。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 物品購入の手続きにより、物品購入までに時間がかかったため、今後は改善を図りたい。
- テーマを一つに絞るより、教育活動全体を通して、オリンピック、パラリンピックに関連付けて、より幅広く行った方が、生徒のオリ・パラへの関心は高まるとともに、もっといろいろな活動が創出できると考える。